

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年11月21日

計画の名称	弘前市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）														
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）										重点配分対象の該当		○		
交付対象	弘前市														
計画の目標	浸水対策事業の計画策定を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
	上下水道耐震化計画に基づき、急所施設や重要施設に接続する下水道管渠等の耐震化を推進する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		940	A	930	B	0	C	10	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）		1.06	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R6当初）	（R8末）	（R10末）
1	内水ハザードマップの作成・公表により、浸水が想定される区域において、浸水区域及び避難場所の認知割合を0%（R6当初）から100%（R10末）に向上させる。			
	浸水想定区域内の人が浸水区域及び避難場所を認知している割合	0%	90%	100%
	浸水区域及び避難場所の認知人口 / 浸水想定区域人口×100			
2	上下水道耐震化計画に基づき耐震化を要する管渠のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合を9%（R6当初）から12%（R10末）に増加させる。			
	上下水道耐震化計画に基づき耐震化を要する管渠のうち、地震時にも下水道としての機能が確保できている割合	9%	11%	12%
	機能確保済みの管渠延長 / 機能確保すべき管渠延長			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07- 001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（ 雨水）	-	内水浸水解析	内水ハザードマップ・内水浸 水想定区域図の作成 A=4, 32 5ha	弘前市	■					26		-	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																		
	A07- 002	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（ 雨水）	-	雨水浸水対策	雨水管理総合計画の策定 A=4, 325ha	弘前市					■		39		未策定
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																		
	A07- 003	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（ 污水）	改築	弘前処理区（管路施設）	管渠更生 L=1, 627m 管口耐 震化 N=37箇所	弘前市		■	■	■	■		720		策定済
		下水道総合地震対策事業																		
	A07- 004	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（ 污水）	改築	管路施設の耐震診断・設 計等	耐震診断（簡易） A=3, 542h a 耐震診断（詳細） 詳細 設計等	弘前市		■	■	■	■		145		策定済
		下水道総合地震対策事業																		
												小計						930		
											合計						930			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	C07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	管渠（ 雨水）	-	内水浸水解析	内水ハザードマップ印刷製本 及び配布	弘前市			■				10	-
		内水ハザードマップを印刷製本し、住民に配布することにより、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る																	
		内水浸水リスクマネジメント推進事業																	
											小計							10	
											合計							10	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	13				
計画別流用増△ 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	13				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	13				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 ( i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 弘前市の下水道における防災・安全対策の実現（重点計画）

事前評価	チェック欄
I．目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 1 ) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I．目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1 ) 地域課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II．計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 1 ) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 2 ) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 3 ) 目標及び事業内容と事業範囲との整合性が確保されている。	○
II．計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性等 4 ) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II．計画の効果・効率性	
④事業の効果 1 ) 十分な事業効果が確認されている。	○
III．計画の実現可能性	
⑤円滑な事業遂行の環境 1 ) 持続可能な下水道事業を執行するための体制が整備されている。	○
III．計画の実現可能性	
⑤円滑な事業遂行の環境 2 ) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III．計画の実現可能性	
⑥地元の機運 1 ) 作成した内水ハザードマップ等を市民へ周知する。	○

(参考様式) 参考図面

